

## 国立天文台客員教授等報告書

受入教員 プロジェクト名：チリ観測所 氏名：平松正顕

客員氏名：阪本成一

称号：~~客員教授~~ 客員准教授 客員研究員 (○をつける)

期間：平成 26年 4月 1日 ～ 平成 26年 7月 31日

I. 以下の項目について、客員教授等本人が記入してください。

[1] 主な活動と成果 (当初の計画についても記入すること)

当初の計画として、ALMA の初期科学運用・本格運用からもたらされる研究成果の公開や今後 ALMA が切り拓く天文学の姿を広く提示すること、ALMA に関連する講演会の企画立案や講師としての登壇、その他の講演会の機会を利用した ALMA 計画の紹介など、チリ観測所の教育・普及活動全般を支援し、ALMA の一般市民に対する認知度の向上に努めることとしていた。

年度早々に、チリ観測所に教授として着任することが内定したため、計画を一部変更して、7月14日から17日に韓国・済州島で行われた East Asia ALMA Science Workshop に参加して、ALMA の状況を把握することにした。このときに得た知見を雑誌の解説記事として出版し、ALMA の知名度向上につなげた。また、5月30日には横浜市立大の大学院生向けに「生命を育んだ宇宙」という講義を行った。

[2] 本制度に対する意見、要望など

特になし。

[3] 国立天文台職員や大学院生と共同して行った研究等の学会発表、学術論文、解説等

- 阪本成一 2014, 「宇宙に耳をすます 世界自然遺産と月探査」 2014/09 月刊天文ガイド

II. 以下の項目について、受入教員が記入してください。

[4] 本制度に対する意見、要望など